

7 人権擁護の推進

市内には、10名の方が人権擁護委員として法務大臣から委嘱され、人権にかかわる各種相談や人権に関する啓発活動などで、活躍されています。

平成28年度の千曲市部会の活動は下記のとおりです。

○第68回人権週間

毎年、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、広く人権尊重思想の高揚を呼びかける啓発活動をしています。市でも人権擁護委員さんが広報車で市内を巡ったり、市のホームページで啓発をしました。

○人権擁護委員の日

「人権擁護委員法」が制定された6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、「特設人権相談所」を開設したり、地域住民に人権への理解を深めてもらうための啓発活動などに取り組んでいます。市では、人権擁護委員や市職員が屋代駅や戸倉駅などで啓発活動を実施しました。朝の電車で通勤するサラリーマンや通学する学生などに啓発物品を配布し、人権啓発について呼びかけました。

○人権教室

幼いころからの人権感覚を磨くため、市内の9児童館と1保育園において紙芝居による人権教室を開催しました。

○市民に寄り添う人権相談

月1回、公共施設において人権擁護委員による人権相談を実施しました。

その他、千曲市民夏祭りや、人権を守る市民集会など様々な場面で啓発活動を実施しました。



▲H28. 12/10 戸倉駅での人権週間啓発活動

みんなで築こう 人権の世紀

12月10日は人権デーです。

第68回 人権週間

12月4日～10日

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

法務局では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。お気軽にご相談ください。

みんなの人権 110番 0570-003-110

子どもの人権 110番 0120-007-110

女性の人権ホットライン 0570-070-810

インターネット人権相談受付窓口

パソコンから <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html> | インターネット人権相談 | 携帯

携帯電話から <https://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>

◆人権啓発デジタルコンテンツ [人権啓発デジタルコンテンツ] | 携帯 | ◆人権ライブチャット | 人権ライブチャット | <http://www.jinken-lbary.jp/>

法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会

孫の一言

時々、妻と二人で2歳になる孫（2歳8か月）の子守りをすることがある。言葉も話せるようになり、言葉の意味も理解できるようになってきた。それに伴い、いけないこともするようになり、大人の言うことを聞かなくもなってきた。孫の成長を嬉しく感じる反面、時には叱らなければならないと思うことがある。

ある日のこと。

遊んでいて、孫が急に私の頭をたたいてきたことがある。

私：何でたたいたの。いけないことだよ。ごめんなさいは。

孫：（人の顔を見ていて、ごめんなさいを言わない）

私：爺（じじ）のところをたたいたから、ごめんなさいは。

孫：（「う～う」と言って、一向に謝ろうとしない。）

私：それじゃ、土蔵だな。（私は、孫が言うことを聞かないとき「土蔵に入れる」と言っている。）

孫：「土蔵やだ」と言って「ごめんなさい」をする。（しかし反省している様子はない。）

まだ2歳である。どうして叱られているのかよく理解できない。しかし、孫の将来を考えたとき、分からなくても「してはいけないこと」として躰けておくことは大切なことだと思う。（「土蔵に入れる」は言葉としてはどうかと思うが。）

後日のこと。

掃除機で廊下を掃除していた時、急用で、そのままにして出かけてしまった。

帰ってくると、妻が、「お父さん、Y（孫）が面白いこと言ったよ」と言って、話してくれた。

妻：爺（じじ）、掃除機片づけないで行っちゃったね。

孫：爺、土蔵だな。

妻：そうだね。爺、土蔵だね。でも、爺は御用があって出かけたから、仕方がなかったんだよ。

孫：（黙って聞いていたとのこと）

妻と孫の二人で掃除機を片づけてくれた。

この会話を聞いて、孫にやられたなと思った。

言葉の意味が分からずに使っていると思っていたが、孫は状況を理解して、この状況にあった言葉を使っていることを感じた。

2歳の子どもではあるが、一人の人格を持った人として接することは、子どもにとっても大人にとっても人権感覚を育てていく良い機会であると思う。

人と人とのコミュニケーションを大切にして、人権感覚を高めていきたい。

（人権教育指導員 下寄正幸）